

# アンケート調査について

## (1) 調査目的

第5期地域福祉計画を策定するに当たり、地域福祉の在り方に関する意見を反映させるため、市民を対象としたアンケート調査を実施する。

## (2) 調査方法

- 【対象地区】 江別市全域
- 【対象者数】 江別市に居住する18歳以上の市民3,000名
- 【調査方法】 郵送配付・郵送回収またはオンライン回収
- 【調査時期】 令和6年7月

## (3) 調査内容(案)

地域福祉計画で設定した目標の達成を図る指標もあるため、前回策定時の調査内容から大幅な変更は行わないが、以下の設問を追加する。

### ① 災害対策に関する設問

市では、高齢者、障がい者、乳幼児等の防災施策における要配慮者のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方について避難行動要支援者名簿を作成し、地域における支援体制の整備を図っている。一方で、災害時には地域の支援者自身が被害に遭う可能性もあり、普段から災害に備える意識を持つ個人が増えることが、緊急時の地域の迅速な支援につながることを考えられるため、災害対策についての意識を問う設問を追加する。

⇒[問32、問33、問34、問35]

### ② 成年後見制度に関する設問

市では、令和4年3月に江別市成年後見支援センターを「中核機関」と位置づけ、権利擁護支援を必要とする方を早期に発見し、適切に必要な支援につなげる地域連携ネットワークの仕組みを構築した。今後、成年後見制度を広く市民が利用していくことを目指し、成年後見制度についての認知度について測る設問を追加する。

⇒[問36、問37]

### ③ 再犯防止に関する設問

再犯者は社会生活を営む上で様々な問題を抱えており、社会復帰できないことが犯罪を繰り返す大きな要因にもなるため、刑務所や少年院の出所者などに対する支援とともに、地域の一員として社会復帰しやすい地域環境づくりが求められている。社会復帰しやすい地域環境づくりの一つとして、再犯防止に関する地域住民の意識づくりがあるため、市民の再犯防止に関する意識を問う設問を追加する。

⇒[問38、問39]